

スマートウェルネス住宅研究企画委員会 第4回 シンポジウム

～エビデンス・ベースドのスマートウェルネス住宅～

平成30年3月15日(木)

13:30
～16:10

すまい・るホール

(東京都文京区後楽1-4-10 住宅金融支援機構本店1F)

主催： 一般社団法人日本サステナブル建築協会
共催： 一般財団法人建築環境・省エネルギー機構

本格的な少子・高齢社会、人口・世帯減少社会の到来、環境制約の一層の高まり、国民の居住ニーズの多様化・高度化などの課題に対応して、国民の生活基盤である「住まい」はこれら課題を克服していく上で、非常に大きな役割を担うと考えられます。

スマートウェルネス住宅研究委員会は、CASBEEの開発や健康維持増進住宅、LCCM住宅等の既往の研究成果を踏まえて、建築学、都市工学、環境学、IT技術、医学、生理学、社会福祉学、経済学などの垣根を越えて、関連する産・学・官の協力体制のもとに、住生活における新しい価値の創出と新しい社会への対応をテーマとして設立されました。

本シンポジウムでは、スマートウェルネス住宅の効果を脳科学により分析した成果をはじめ、健康と省エネに関する全国調査の概要、並びに住宅メーカー等における最新事例・動向について紹介いたします。

参加費：3,000円
(資料代、税込)

定員：150名

受付フォーム
ここをクリック

挨拶

※プログラムは予告なく変更となる場合があります。

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長 村上 周三 氏
国土交通省 住宅局 住宅生産課 建築環境企画室 企画専門官 北田 透 氏

基調講演

脳科学によるスマートウェルネス住宅の効果分析

慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン学科 主任教授 伊香賀 俊治 氏

調査研究概要の報告

(1) 住環境と健康部会 報告

北九州市立大学 国際環境工学部 建築デザイン学科 講師 安藤 真太郎 氏

(2) エネルギー・情報・設備システム部会 報告

芝浦工業大学 建築学部 建築学科 教授 秋元 孝之 氏

(3) 全国調査の概要

慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン学科 主任教授 伊香賀 俊治 氏

スマートウェルネス住宅の先端事例・取組の紹介

(1) 積水ハウス株式会社

技術部 技術渉外グループ 部長 藤原 寛典 氏

(2) 大和ハウス工業株式会社

総合技術研究所 フロンティア技術研究室 先端技術研究開発1グループ グループ長 小池 昭久 氏

(3) 東京ガス株式会社

リビングサービス推進部 技術企画・推進グループ 主幹 大平 昇 氏